

ミナミ 御堂筋の会 Midosuji no kai

私たちは、ミナミ御堂筋の沿道企業体です。

ミナミ御堂筋ビジョン 2018



ミナミ御堂筋ビジョン2018の 策定にあたって

大阪のメインストリート、御堂筋。世界に誇るメインストリートと肩を並べるためには、いかにあるべきか。その実現に向けて、どんな行動をすべきか。

ミナミ御堂筋沿道の不動産を所有するオーナーによる団体、「ミナミ御堂筋の会」は、2015年7月の設立以後、御堂筋のあり方の議論を重ねてきましたが、このたび、その成果をもとに方向性を共有するべく、「ミナミ御堂筋ビジョン2018」として、2018年5月に、取りまとめました。

このビジョンは、私たちが思い描くミナミ御堂筋の基本的な方向性を示すものであり、今後、関係者とともに議論を深めながら、より深化させていくものとします。あわせて、我々が取り組むべきアクションについても提示しており、可能なところから具体化に向けて行動に移していきます。

目標年次は概ね10年後を見据えた2030年とし、今後の社会経済情勢の変化と共に、随時、見直しを進めていくものとします。

平成30年(2018年)6月

ごあいさつ

ミナミ御堂筋の会 代表理事

高橋 勝彦

当会は、御堂筋イルミネーションの南伸化を契機に沿道地権者組織として平成27年に設立、モデル区間整備・活用など行政やミナミの関係団体と協働で取り組んで参りました。

御堂筋完成80周年を契機に、地権者が一丸となって、歴史や文化、空間のレガシーを未来に繋げ、沿道のバリューアップを図りたい。そしてミナミ御堂筋から、大阪、そして関西の格を高めていきたい。その第一歩として、私たちが目指したい方向をビジョンとして取りまとめました。

パリ・シャンゼリゼにもひけをとらない、世界中から認められる御堂筋を、皆さまたちと創るべく、私たちは、行動します。どうぞご期待ください。



ミナミ御堂筋の会 顧問

嘉名 光市 (大阪市立大学大学院 教授)

ミナミをとりまく状況は大きく変化しています。外国人観光客の増加やそれに伴う回遊経路の拡大もみられます。日本橋～難波～心斎橋全体での回遊性の向上が課題になっています。そして、人の流れの変化に伴い、店舗構成などまちの雰囲気も変化しています。このような中、なんば広場改造計画が進んでおり、さらには、なにわ筋新線の整備といった中長期的なまちの変化も見据える必要もあります。御堂筋の空間再編にあたっては、御堂筋を中心としながらも、周辺のまちと一体的な都市デザイン戦略を描き、ミナミの将来像を見据え、個性を生かしたまちづくりが求められています。このビジョンが羅針盤となることを大いに期待しています。



大きな変化にある、ミナミ御堂筋。

大阪のメインストリート、御堂筋。このミナミエリアは、インバウンドの影響も追い風としながら、大きくその姿を変えようとしています。

関西国際空港から直結するアジアのゲートウェイ、なんば駅周辺は、国際的な観光地としての地位を確立。インバウンド効果で外国人観光客が激増し、2030年の府下の外国人観光客は2,000万人(2017年1,111万人)にも達すると予測されています。

付近の不動産需要は高まりを見せ、地価も大きく上昇、2018年にはキタを逆転しました。数年で大型開発が計画あるいは進行中であり、そのエリアはなんばから新今宮などへと拡大しつつあります。さらに、なにわ筋線開業(2031年春目標)によってエリアのポテンシャルは一層向上すると期待されています。

御堂筋の完成80周年を迎え、官民連携による都市空間再編、御堂筋の歩行者空間化に加え、なんば駅前広場の整備が、リーディングプロジェクトとして強力に推進されています。



【御堂筋の過去・現在、そして未来】

関一の都市大改造計画

- ・「道こそ街の動脈」、御堂筋は都市格を体現し、沿道には優れた建築物が建設、美しい景観を創造し、大阪のレガシーに

写真：完成当時の御堂筋
大阪市ホームページより▶



高度経済の変容を経て転換期に

- ・都心部の土地利用も道路空間も経済活動で占められ御堂筋もアメニティを失う
- ・中之島の景観保存、水都大阪の再生、御堂筋の道路空間再編と沿道の土地利用転換が進み、力強い民の動きが勃興

【世界の潮流】

世界の各都市で歩行者空間化の空間再編が具体化

- ・ニューヨーク市“Sustainable Streets Strategic Plan”を策定、タイムズスクエアを歩行者空間化社会実験実施、恒久化へ



歩行者のための空間形成がグローバル都市の戦略

- ・「パリは歩行者に対する包括的な戦略、ウォーキング国際国連憲章に署名する。」

～パリ市の歩行者グローバル戦略より

【ミナミ御堂筋での議論】

メインストリートが都市戦略上の核

- ・「メインストリートをいかに都市の中核に据えていくかが非常に重要な課題。」
- ・「普通は一見無理だと思えるようなことを実現するのが海外のメインストリート、御堂筋もそこを譲ってはならない。」

～嘉光市氏講演「大阪のまちづくりをリードするミナミ御堂筋の展望」より

真に人間のためのメインストリートが、世界の中で生き残る

- ・「人間が自分でもちをつくらっているという意識を持つまちが競争力があって、人がたくさん集まり、世界の中で生き残る。」

～隈研吾氏講演「世界のメインストリートと建築」より

ミナミ御堂筋を取り巻く これからの大きな変化

- ・御堂筋整備拡大(北伸化)
- ・精華小学校跡開発、大丸心斎橋本店・ロイヤルクラシック大阪・南海会館ビル建て替え
- ・なんば駅前広場化
- ・東京オリンピック・パラリンピック開催
- ・なにわ筋線整備

80周年記念事業を 取り巻く動き

- ・御堂筋のデザイン指針、将来ビジョンの検討
- ・官民連携ほか、ワークショップの開催によるあり方議論
- ・モデル整備区間における社会実験の実施

ミナミ御堂筋の会の 着実な取り組み実績

- ・地権者による定例会、あり方の議論や情報発信、勉強会
- ・モデル区間整備のコーディネート
- ・顧問嘉光市氏、建築家隈研吾氏の講演会実施
- ・御堂筋イルミ他プロモーションへの参画、協賛実施

今こそ、将来のミナミ御堂筋のすがたを、発信し、行動する時。



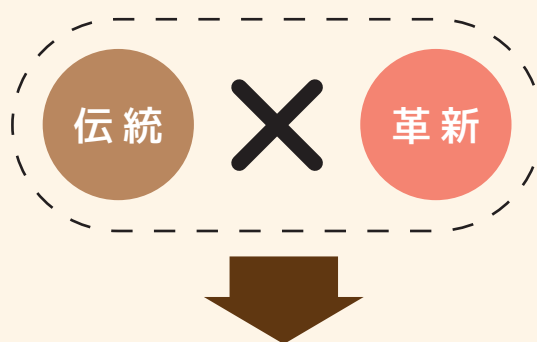
御堂筋・なんば方面を望む

「伝統を受け継ぎ、革新を生む。」 時代を創る「景観」のストリート

御堂筋は、大阪の背骨となるメインストリートとして、広幅員の道路、整ったイチョウ並木、そして沿道に建ち並ぶ建築物によって、骨格となる街路景観が構成されています。

ミナミの御堂筋に、ウィリアム・メレル・ヴォーリズ、村野藤吾などの建築家が残した建築物は、エリアの核として存在感を放ち続けてきました。現在、日本を代表する建築家、隈研吾による新歌舞伎座など、時を超えて現在に残るレガシーとして、後世に受け継がれようとしています。

ミナミ御堂筋に息づくレガシーをエリアの核として継承しつつ、時代にあわせた投資を誘発しながら新しい建築物を創造し、重層した歴史の上に新しいストリートを価値づける高質な街並みを創造します。



新しいストリートの価値の創造

- 世界に誇る高質なストリートのデザイン
- 伝統（レガシー）を持つ建築物への投資、歴史的な要素を継承、更新を後押しする規制緩和
- 世界的な建築家が競作する街並みの形成

ミナミ 御堂筋 景観の 今

ミナミ御堂筋を彩る 特徴的な建築たち



沿道東側を中心に特徴的な
ファサードの建築物が点在する

また、ハイブランドなテナントが
軒を連ねるエリアも見られ、
最先端の技術や高感度のデザイン
による街並みが形成されている

近年は著名な建築家による作品の
アップデートが見られ、
景観を継承しつつ、
機能の更新が進む

大丸心斎橋店 本館



七宝山大福院 三津寺



はり重



ホテルロイヤルクラシック大阪
(旧新歌舞伎座)





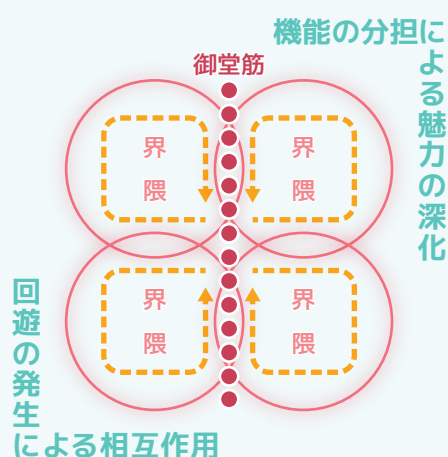
ミラノ・ガレリアの界限

ストリートと界限がミックスされ、 新たな「ストリートカルチャー」を 創出するストリート

世界では、ニューヨークの刺激的な小劇場（オフ・ブロードウェイ）、シャンゼリゼ裏路地のビストロ等、界限がサブカルチャーや時代にチャレンジする新しい店舗を生み出しています。メインストリートの魅力は、それ単独では成立せず、界限とミックスされ、相乗効果を発揮することで生み出されており、また、メインストリートと界限をつなぐ回遊により、都市の魅力により深みを増し、印象的な体験を生み出します。

ミナミは、世界中から観光客が押し寄せ賑わう商店街や、常に若者のカルチャーを先導してきたエリア、水都大阪を象徴する水辺空間や、新しい店舗が急増し賑わうエリアなどなど、多様で魅力的な商業地の界限があり、商都の顔として経済や観光を牽引してきました。

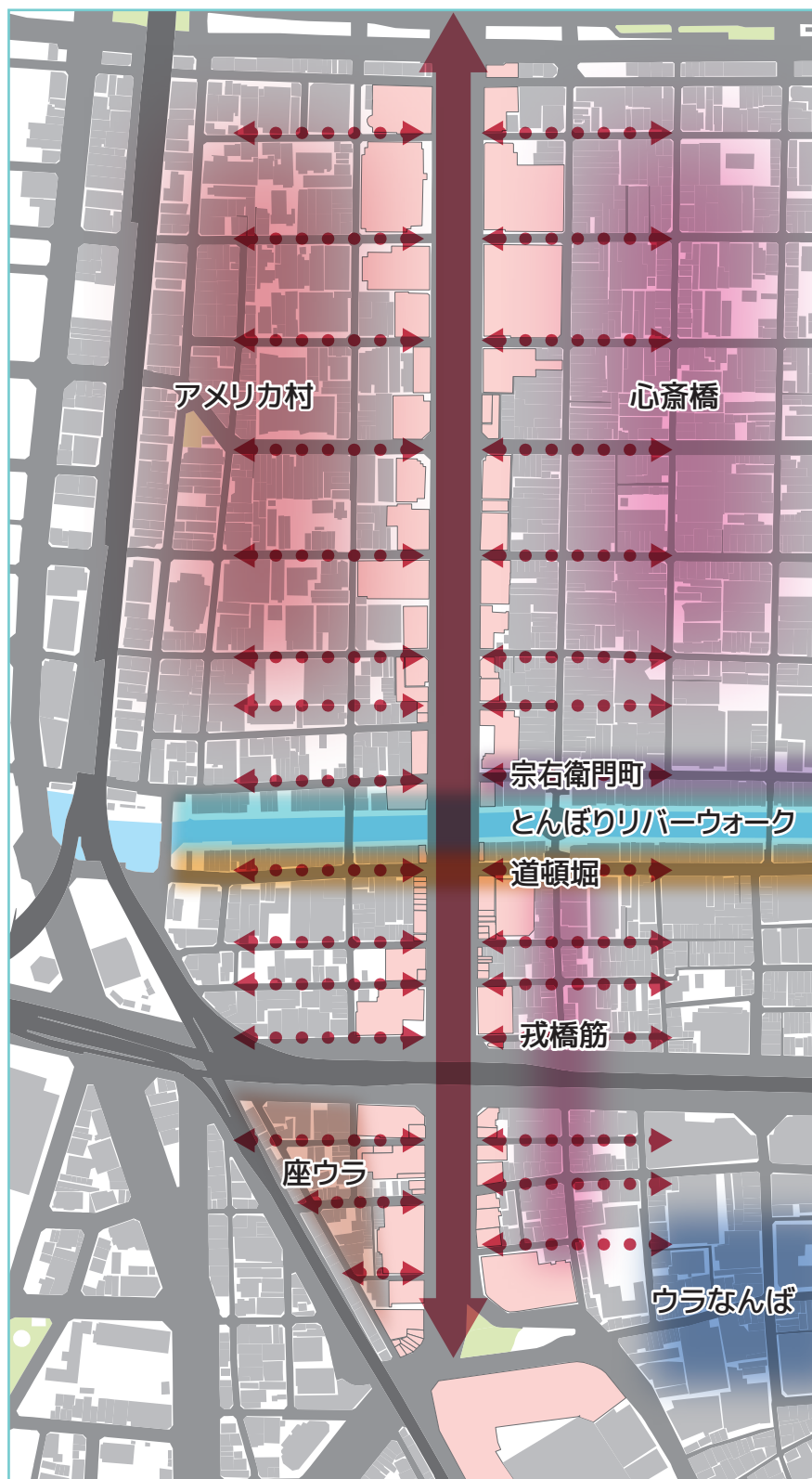
ミナミ御堂筋は、このエリアと共に、時代を先取りする新しい文化「ストリートカルチャー」の世界への発信地をめざします。



- 御堂筋と道頓堀、宗右衛門町、アメリカ村、ウラナンプ、座ウラなど...裏路地への回遊性創出
- 路地とメインストリートが交わる場所のデザイン（滞在・インフォメーション機能）
- 路地裏のクリエイターなどストリートカルチャーのチャレンジへの投資

ミナミ 御堂筋 界隈の 今

御堂筋と周辺の界隈



御堂筋を歩くと東西の通には
多様な界隈が顔を覗かせている

それぞれの独自性を伸ばし
発展してきたミナミの魅力は
実に多様である

アメリカ村



若者のカルチャーを常に先取りしてきた界隈

道頓堀



西日本一の繁華街
昼夜を問わず賑わいを見せる

とんぼりリバーウォーク



道頓堀と宗右衛門町に挟まれた道頓堀川の沿川
船が行き交う水都大阪を代表するエリア

戎橋筋



ファッションや美容、食から体験イベントまで
多様な魅力がつまった商店街



スペイン・ランブラスストリート

ミナミ発、「歩行者文化」を創造する ストリート

パリ、ニューヨークなど、世界中の都市が、歩行者主体の空間形成で都市間競争を繰り広げる時代。車で埋め尽くされていた道路を人の手に取り戻す大胆な空間再編によって、人中心に生まれ変わった街は賑わいと楽しさを絶えず生み出しています。

さらに、徒歩行動の誘発は、人間の感覚や健康に刺激を与えると同時に、地域の環境改善、沿道や周辺商業地への経済効果も創出、沿道価値向上にも寄与します。

世界を先導する都市は、空間をつくる段階を終え、いかに歩く楽しみ・魅力・文化を官民で創出していくか、を戦略的に展開する段階に入っています。それに比して、大阪、関西の歩行者空間形成は、まだ始まったばかりです。

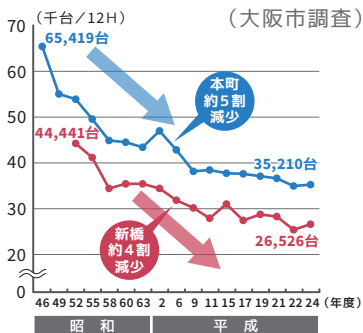
大阪、関西をウォークアブルなまちに変えていく、御堂筋はその背骨として先導する役割を果たし、都市の格を高めていく、ミナミ御堂筋から「歩行者文化」を創造するストリートをめざします。



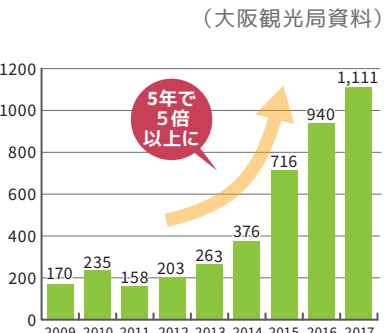
- 歩行者空間再編の早期の実現（北伸化）と滞在空間化
- 沿道低層部テナントによる活用の仕組み創設など、路上の歩く魅力を高めるエリアマネジメントの実現
- 新たな交通システム導入による歩行者空間化

ミナミ 御堂筋 道路空間 の 今

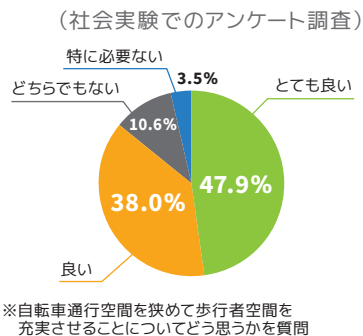
自動車交通量の推移



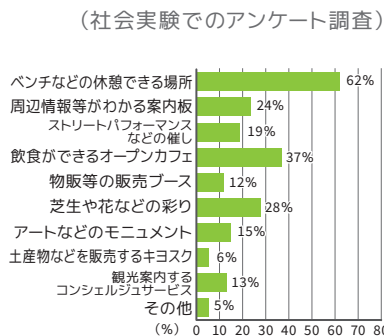
来阪外国人数



歩行者空間充実について



将来の御堂筋に必要なもの



御堂筋を取り巻く人々の「移動」に関する状況をふまえ、御堂筋の道路空間のあり方を検討する

現在、御堂筋の自動車交通量は、当地区の北端である「新橋」において、約4割 減少している。

インバウンドの影響により、来阪外国人数は激増
この影響により
ミナミ御堂筋の歩行者数も大幅増へ

平成29年の社会実験において、歩行者空間の充実に対して、多数の来訪者が積極的な評価

また、道路空間に、休憩できる場所やオープンカフェ、芝生や花等を求める声が多い

Reference

シェアード・スペース (ロンドン)

歩道と車道を一体に整備することで、歩行者と自動車が同じ空間を共有する道路デザイン (MAKING BETTER PLACES / WSPより)



歩行者空間のファースト・ステップ

平成29年社会実験の検証を踏まえた次なる道路空間イメージ



自転車
通行空間
との明快な
分離

明快な
分離を促す
サインの
設置

自転車通行区間

歩車分離を図り2mの幅員で安全な自転車走行を誘導

歩行者空間

自転車通行空間を車道側に配置しできるだけ広幅員の歩道空間を確保イチョウ並木の景観も活かせる

滞在空間

ベンチ等、固定式で人が滞留できる設え(地域での管理)

歩行者空間

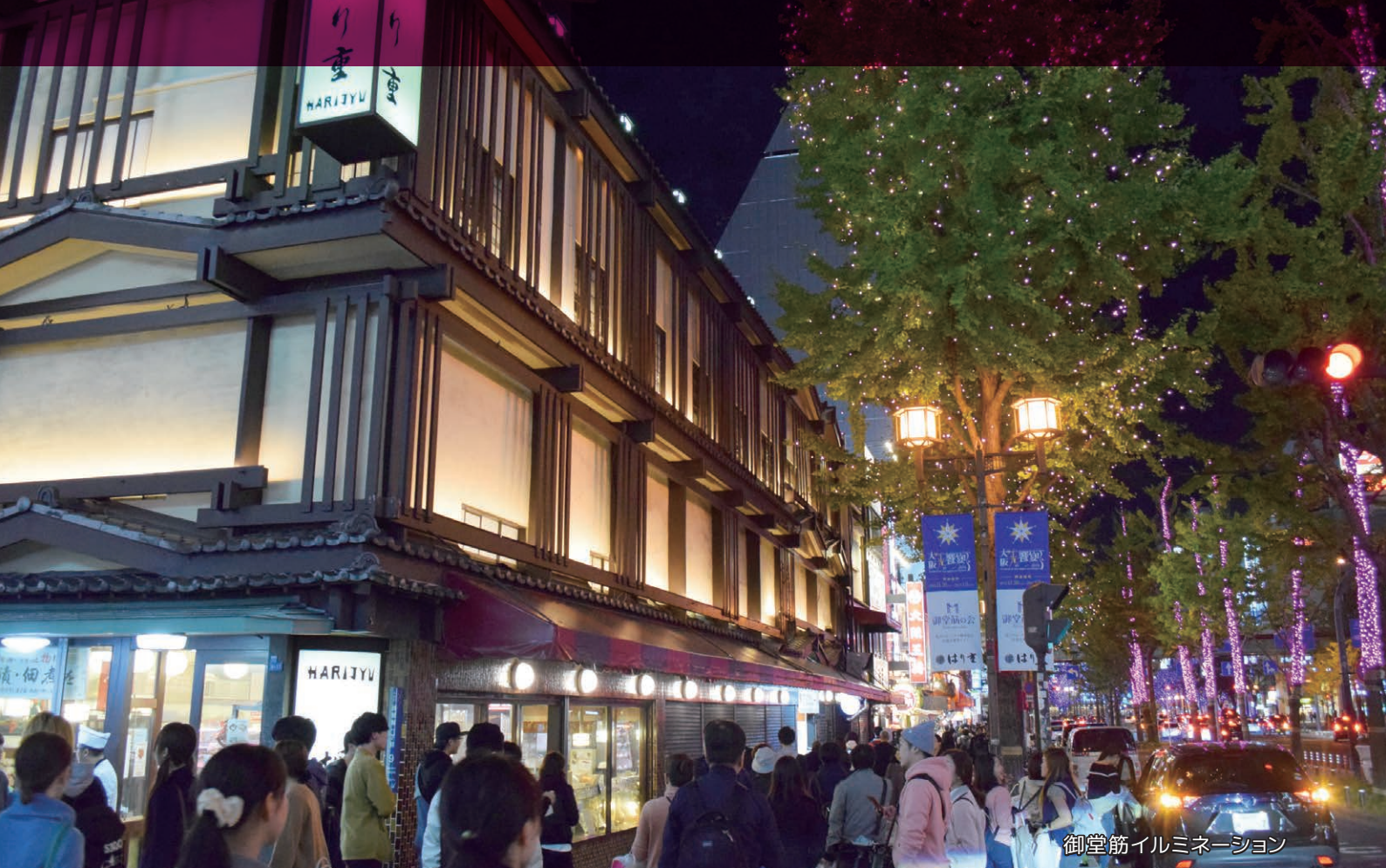
カフェなどの沿道テナントがにじみ出し空間(1.5m程度)を占有し、可動式ファニチャーなどを活用しオープンカフェなどを展開する仕組み

滞在空間

平成29年秋

社会実験において、以下の事項を検証

- ・自転車通行空間と歩行者空間の適正配分、分離方法
- ・滞在装置(ファニチャー)の設置
- ・オープンカフェ・マーケットの運営
- ・案内版による案内と広告収入の確保 等

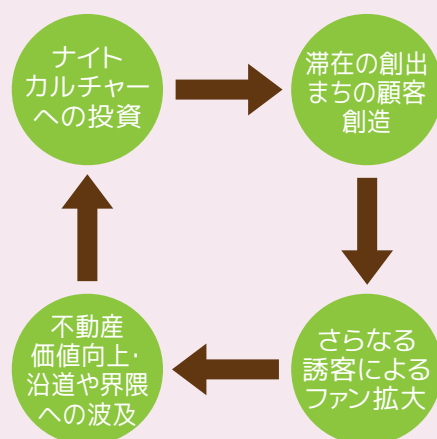


御堂筋イルミネーション

食・ライブ・滞在の 「ナイトタイムエコノミー」を 牽引するストリート

ミナミは、古くより飲食や観劇を楽しむ、大人の歓楽街としての地位を築いており、魅力的な夜の文化を創造し、人々を惹きつけてきました。こうした夜の文化、ナイトエコノミーの創造は、これからの日本経済の牽引力としても大いに期待されているところです。

ミナミを訪れる世界からの観光客は増加の一途を続けており、インバウンドは今後もさらに伸びていくと予測されていますが、そのような流れの中においても、ミナミが培ってきた、上質・ハイクラスな夜の文化、エンターテインメント(世界水準の食、ライブ、劇など)や滞在など、未来の上質なコンテンツを提供する発信基地であり続け、ナイトエコノミーを牽引するストリートをめざします。

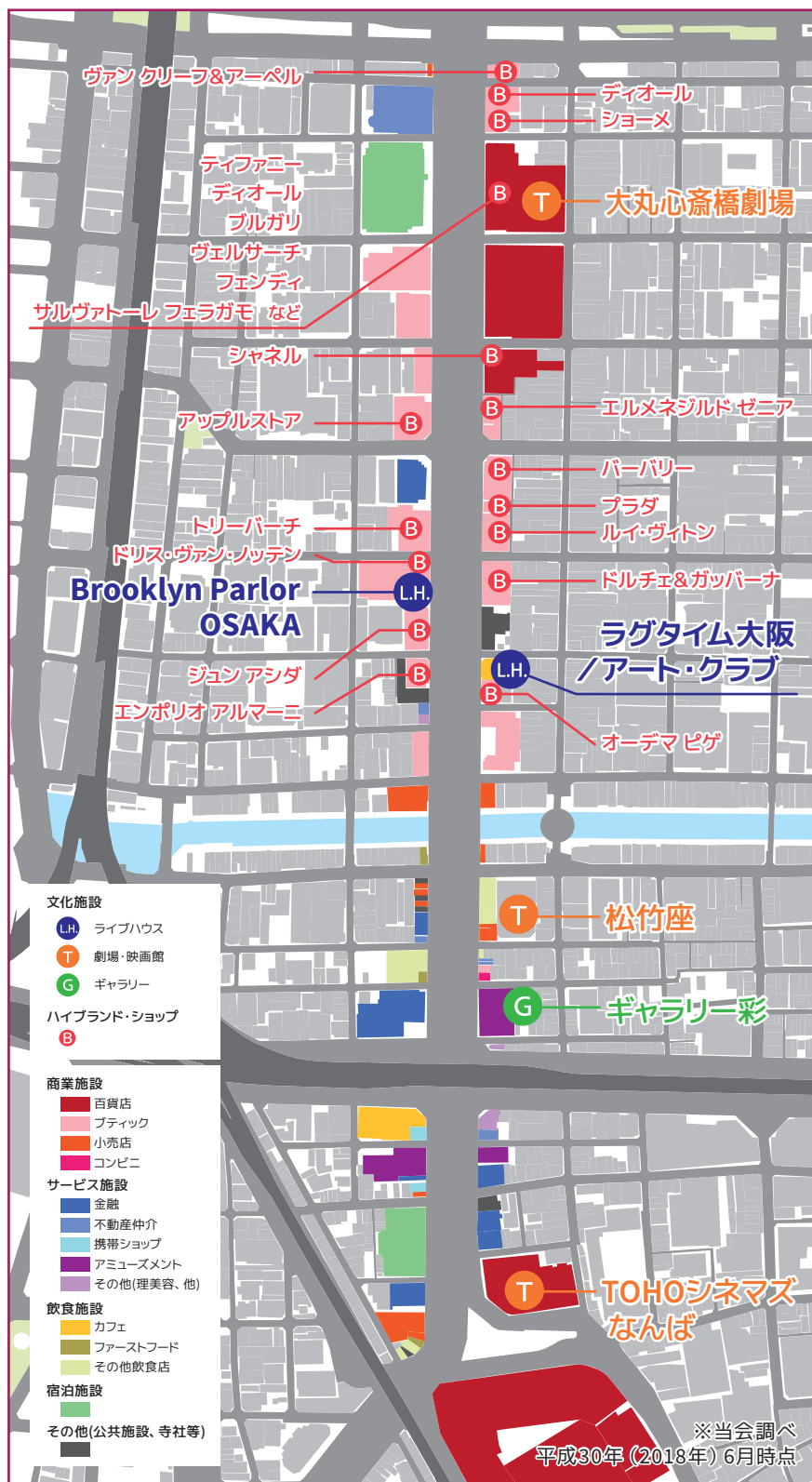


■ ナイトタイムを御堂筋の魅力にするためのテナント構成等のシフト

■ 夜間景観の創造に向けた投資(著名デザイナーによる夜間景観のトータルデザイン、御堂筋イルミネーションの包括スポンサードの仕組み創設 など)

ミナミ 御堂筋 沿道利用 の 今

ミナミ御堂筋沿道の建物



大阪のメインストリート
御堂筋の南側
沿道の利用状況はいかに

- ブランドストリート

エリアの北側を中心に、
低層部には最先端ファッション
ブティック旗艦店や
高品質なレストランが入り、
ミナミ御堂筋は買い物など
日中の楽しみが詰まっている

- エンターテインメント

大丸心斎橋劇場や松竹座をはじめ、
劇場やライブハウスなどが
上質なカルチャーや
エンターテインメントを提供してきた

しかし、その分布を見ると
両の指で数えられる程度である…

- 変わりつつある千日前以南

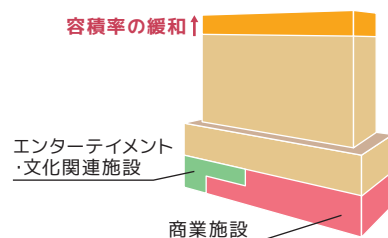
現状、金融等サービス施設が目立ち、
比較的落ち着いた印象の
千日前以南

近年は、旧新歌舞伎座のホテルへの
建替、南海本社ビル(なんばスカイオ)
の建設、なんば広場の整備計画など
インパクトの大きい変化が見られる

Reference

カルチュラル・ボーナス (ハーレム/NY)

ニューヨークのハーレム地区は、
世界的なエンターテインメントのまちである
床負担力の低いライブハウスや劇場を
確保するため、建築の際、エンターテインメント・
文化関連施設を低層階に入れることで、
容積緩和を認めている



ミナミ御堂筋の会とは

平成26年度に御堂筋イルミネーションの南進化が検討されている中、「ミナミの御堂筋沿道では沿道のまちづくりの情報を地権者に届ける場もなく、せっかく各種事業が実施されていても自分たちの知らないところで事業が進んでしまいかねない」状況に危機感を持ち、沿道の地権者が集まり情報を得て、意見等を表明していく組織が必要であるとの認識に至り、平成27年7月28日、13社の正会員、1社の賛助会員の参加を得て設立しました。



会の目的(ミッション・ステートメント)

国内のみならず海外からも注目される“世界の御堂筋”をめざし、
まちの資産価値向上を図るべく、不動産オーナーが連携して、
下記の3つの観点からまちのあり方を提案し、実現に向けて働きかける

ミナミ御堂筋の3つの“E”

E NVIRONMENT
高質な
メインストリートの
空間・環境づくり

E CONOMY
経済・投資活動で
まちが潤う
しかけづくり

E MPOWERMENT
まちの発展を導く
マネジメント体制・
しかけづくり

会の主な活動

毎月最終週の月曜日に定例会を開催の他、下記の活動を実施しています。



建築家・隈研吾氏をお招きした講演会



モデル区間整備協議への参画、取り組み支援



モデル区間の社会実験「御堂筋チャレンジ」



沿道のプロモーションイベント等への協賛



御堂筋イルミネーションの参加・協力
(当会会員ビルのライトアップ)



ミナミー齊大そうじへの参加

会員企業

【2018年6月現在】

正会員(17社): 株式会社大丸松坂屋百貨店、都島自動車株式会社、三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社、七宝山大福院三津寺、株式会社オクウチサービス、株式会社スポーツタカハシ、株式会社播重、有限会社泉屋、平川商事株式会社、東亜商事株式会社、三信株式会社、株式会社三栄建設、光明興業株式会社、株式会社池田ビジネス、株式会社ベルコ、有限会社ナカムラ、個人

賛助会員(3社): 株式会社アイ・プランニング、イチエイ商事株式会社、東京建物不動産販売株式会社

【お問い合わせ先】 ミナミ御堂筋の会事務局

株式会社 地域計画建築研究所(アルパック) 大阪事務所 内

〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7 日本生命今橋ビル10F

Tel: 06-6205-3600 Fax: 06-6205-3601 E-mail: minami-midosuji@arpak.co.jp

f ミナミ御堂筋の会 検索
Facebookもチェック